

第15回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会 プログラム

6月18日(木)

8:50 開場・受付開始

9:10~17:30 研究発表(ハイブリッド方式)

セッション1

口頭発表(9:10~10:34)

ポスター発表(10:40~11:40)

S1-1 硫酸ピッチ汚染土壌の処理事例

○松川一宏(三友プラントサービス)、金原暁治(同)、佐々木祥之(同)、山崎 明(同)

S1-2 特殊気散ノズルを用いたVOC汚染水浄化装置の実理事例

大岩忠男(松村組)、森岡錦也(村本建設)、○保立尚人(馬淵建設)

原田宏恭(ベストエンジニアリング)、向井清和(ナガオカ)

S1-3 諸外国における土壌環境基準及び設定根拠

○池上麻衣子(京都大学)、米田 稔(同)、中山亜紀(同)

S1-4 砒素汚染土の不溶化に及ぼす影響因子 - 合成活性鉄資材によるAs吸着メカニズムの評価 -

○宇智田奈津代(環境研究センター)、谷 茂(農村工学研究所)、上原誠一郎(九州大学)

窪田洋司(東京ソイルリサーチ)、三浦光通(環境研究センター)、高橋 徹(同)

S1-5 太陽光エネルギーを利用した複合重金属汚染の動電学的浄化に関する研究

○張 銘(産業技術総合研究所)、小野 暁(元・ニュージェック)

駒井 武(産業技術総合研究所)、杉田 創(同)

S1-6 低濃度ベンゼン汚染地下水の静的浄化手法に関する検討

○桐山 久(東邦ガス)、岡嶋正志(同)、大西健司(大林組)、大島義徳(同)

石川洋二(同)、佐藤 健(岐阜大学)

S1-7 攪拌式フェントン法を適用した浄化事例

○藤城春雄(清水建設)、前田将人(同)、中川昌史(同)、坂本 忠(同)

谷本隆志(大阪ガスエンジニアリング)、川崎浩司(大阪ガス)

S1-8 化学酸化剤としてのアルカリ活性化過硫酸ソーダのVOCなどに対する分解と浄化適用性

○大澤武彦(アイ・エス・ソリューション)、角田真之(ランドコンシェルジュ)

西村 実(アイ・エス・ソリューション)

S1-9 鉛の人為的バックグラウンド

○奥澤 保(イー・アール・エス)、鷹嘴寛人(同)、石井 亮(同)

S1-10 土壌汚染対策法対象外物質の現地土壌ガス測定の検討

○大山正幸(住化分析センター)、布留川順一(同)、大坪紀友(同)、桐山忠紀(同)

西川浩一(同)、大悟法弘充(同)

S1-11 油汚染土壌の熱処理に伴う重金属の溶出挙動

○渡邊亮栄(エコシステム花岡)、桐山 久(東邦ガス)、川上 智(DOWAエコシステム)

- S1-12 海成堆積層からの重金属類溶出特性の解析
○石山 高 (埼玉県環境科学国際センター)、長森正尚 (同)、佐坂公規 (同)
見島伊織 (同)、八戸昭一 (同)
- S1-13 界面活性剤を用いた含油土壌の原位置噴射洗浄実験の紹介
○戸成 博 (NIPPOコーポレーション)、藤代広史 (同)、川口秋男 (同)、渡辺 徹 (同)
- S1-14 土壌汚染措置方法のCO₂排出量算定方法の開発 -グリーンレメディエーションに向けた取組み-
○馬場陽子 (国際環境ソリューションズ)、松本 亨 (北九州市立大学)、伊藤 洋 (同)
保高徹生 (国際環境ソリューションズ)
- S1-15 砒素汚染土壌の原位置洗浄に関する基礎的研究
○藤田豊彦 (竹中土木)、山崎 祐二 (竹中工務店) 奥田 信康 (同)
- S1-16 過硫酸塩を用いた原位置酸化分解法による地下水汚染の浄化
○鈴木義彦 (栗田工業)、石田浩昭 (同)
- S1-17 電子顕微鏡で見る汚染土壌中の重金属粒子
○高階義大 (洛菱テクニカ)
- S1-18 地下水揚水および地下空気吸引による油汚染サイトの浄化事例
○尾崎哲二 (アサヒテクノ)、高橋裕幸 (同) 高田史朗 (アステック)、内海太陽 (同)
丸山 悠 (奥村組)、小西正郎 (同)
- S1-19 微生物の代謝による六価クロム汚染土の浄化効果
○大嶺 聖 (九州大学)、安福規之 (同)、小林泰三 (同)、田村和也 (同)
- S1-20 シアン化合物におけるバイオレメディエーションの適応について
○山口重徳 (エコサイクル)、前田信吾 (同)、ピ スリニワスル レッディ (同)
シュリハリ チャンドラガトギ (同)
- S1-21 小型ガスエンジンを使用した土壌ガス処理装置について その2
○長谷川展男 (地盤環境エンジニアリング)、高木一成 (同)、長島文雄 (同)
- S1-22 土壌地下水汚染浄化技術のRisk-Cost指標による包括的評価
○井上 康 (名古屋大学)、片山新太 (同)
- S1-23 不溶化材による汚染土壌の不溶化事例
○守屋政彦 (太平洋セメント)、奥村征弘 (同)、小向雄人 (太平洋コンサルタント)、堀 常男 (太平洋ソイル)
坂本泰教 (同)
- S1-24 実験土槽を用いた地下水揚水における地盤中の油分の挙動に関する検討
○土路生修三 (熊谷組)、嶋田浩一 (同)、石森洋行 (立命館大学)、門倉伸行 (熊谷組) 岡田久雄 (同)
久保 幹 (立命館大学)
- S1-25 揮発性有機塩素化合物の土壌中での気化・拡散および吸着・脱離挙動予測
○山田尚弘 (横浜国立大学)、小林 剛 (同)、三宅祐一 (同)、亀屋隆志 (同)
- S1-26 表面粉碎および酸浸出による射撃場鉛汚染土壌の浄化
○山岡祐太郎 (早稲田大学)、結城 晴 (同)、竹下恭平 (同)、所 千晴 (同)、大和田秀二 (同)
- S1-27 六価クロム汚染土壌のバイオレメディエーションの現場適応事例
○山崎裕民 (興亜開発)、大村範明 (同)、山口重徳 (エコサイクル)、シュリハリ チャンドラガトギ (同)
- S1-28 界面活性剤と毛管上昇ウェルポイントによる油汚染地盤浄化
○林 雅人 (大同工業大学)、窪田豪人 (同)、棚橋秀行 (同)

セッション2

口頭発表（12：30～13：51）

ポスター発表（14：00～15：00）

- S2-1 Dehalococoides属細菌の検出およびVOCs分解における菌の挙動について
○四本瑞世（大林組）、緒方浩基（同）、千野裕之（同）
- S2-2 多摩丘陵の水環境（その2）
○渡辺正子（環境技術士・環境計量士）
- S2-3 窒素ガスを用いた有機浄化資材の効率的な注入方法の検討
○太田綾子（大成建設）、高畑 陽（同）、伊藤雅子（同）、大石雅也（同）、今村 聡（同）
- S2-4 タイにおける油汚染土壌の植物浄化試験
○浅田素之（清水建設）、田崎雅晴（同）、米村惣太郎（同）、黒岩洋一（同）、渡辺泰一郎（同）
伴 武彦（ポリテック・エイディディ）
- S2-5 ブラウンフィールド問題に対するPFI的なマネジメント手法導入の研究
○三村 卓（西武建設）、下池季樹（国際環境ソリューションズ）、松川一宏（三友プラントサービス）
佐島静夫（NPO法人ミャンマー総合研究所）田中宏幸（鴻池組）、蛭名 明（AIGエジソン生命保険）
- S2-6 The potential of an aquatic macrophyte *Eleocharis acicularis* for phytoremediation of
heavy metal contaminated water
○Nguyen Thi Hoang Ha（愛媛大学）、榊原正幸（同）、佐野 栄（同）
- S2-7 土壤中汚染油分の選択的定量分析
○杉田将紀（三菱ガス化学）、佐久間喜子（同）
- S2-8 アンチモン汚染された土壌のヘクソカズラによるファイトレメディエーション
○内海あずさ（愛媛大学）、榊原正幸（同）、佐野 栄（同）、世良耕一郎（岩手医科大学サイクロトンセンター）
- S2-9 ダイオキシン類汚染土壌の無害化技術の研究
○時澤 悟（青木あすなる建設）、孫 建生（同）、黒木宏忠（同）、山口 潤（同）
- S2-10 ボーリングのコア観察による変質区分とヒ素の含有量と溶出量の関係
～北海道の熱水変質岩分布地域における調査事例～
○岡崎健治（土木研究所寒地土木研究所）、伊東佳彦（同）、田本修一（同）
- S2-11 風化花崗岩地帯におけるふっ素溶出量基準超過の自然由来判定
○熱田真一（大成基礎設計）、糸永真吾（同）、廣瀬義純（同）、伊貝聡司（同）
- S2-12 黄鉄鉱を用いたトリクロロエチレンの好氣的酸化分解
Pham Hoa Thi（東北大学）、○須藤孝一（同）、井上千弘（同）
- S2-13 化学酸化工法とバイオ工法の組み合わせに関する検討
○大橋貴志（NIPPOコーポレーション）、橋崎 浩（同）、西本勝宣（同）、井山 浩（同）
- S2-14 砒素含有排水の処理に関する基礎検討
○山崎祐二（竹中工務店）、藤田豊彦（竹中土木）、奥田信康（竹中工務店）
- S2-15 リスクに応じた合理的な土壌汚染措置の有効性の評価
—環境リスク、措置コスト、外部環境負荷(CO₂排出量)の視点より—
○保高徹生（国際環境ソリューションズ）、馬場陽子（同）、中村公人（京都大学）
松本 亨（北九州市立大学）、伊藤 洋（同）

- S2-16 ほう素汚染土壌の浄化工事サイトにおける汚染地下水の浄化対策事例
○豊福恒平（新日鉄エンジニアリング）、武藤 弘（同）、高木敏彦（同）
檜垣仁徳（日鉄環境エンジニアリング）、村田正敏（同）、松山秀明（同）
- S2-17 揮発性有機化合物汚染地盤における原位置浄化工法適用性の検討
○佐藤祐輔（大林組）、坂本秀一（同）、峠 和男（同）、西田憲司（同）
- S2-18 地盤加熱による土壌ガス吸引の浄化効果の向上
○佐藤幸孝（アジア航測）、伊藤久敏（同）、馬場宇久（同）、手塚裕樹（同）
- S2-19 稼働中工場における地下水浄化の達成事例
○安藤卓也（パナソニック環境エンジニアリング）、鈴木圭一（同）、伊藤善孝（同）
- S2-20 VOCsによる土壌・地下水汚染現場における調査および対策手法の省力化事例（第2報）
○高橋 徹（環境研究センター）、三浦光通（同）、岡本 修（茨城工業高等専門学校）
窪田洋司（東京ソイルリサーチ）、佐藤藤男（日立建機）、橋本久儀（同）
- S2-21 土壌中重金属不溶化資材としての転炉スラグの評価 ―スラグ風化物の不溶化機能―
○藤井香苗（九州大学、現・構造計画研究所）、柏原司（新日本製鐵）、金子敏行（同）、和田信一郎（九州大学）
- S2-22 シアンを対象とした酸化分解特性の基礎的検討
○仲山賢治（鹿島建設）、河合達司（同）、川端淳一（同）
- S2-23 多環芳香族炭化水素の界面活性剤を用いた促進型バイオレメディエーションモデルの構築
○井上 康（名古屋大学）、山川 哲（同）、河合桃子（同）、Tien Hong Truong（同）、片山新太（同）
- S2-24 画像解析における蛍光色素の適用性に関する検討
○竹之内亮（神戸大学）、井上一哉（同）、松永尚子（UFJ日立システムズ）、田中 勉（神戸大学）
- S2-25 重金属汚染土壌の酸洗浄処理について
○友口 勝（DOWエコシステム）、吉 俊輔（同）、渡邊亮栄（エコシステム花岡）
- S2-26 バイオレメディエーションによるVOCsと低濃度CN複合汚染の浄化
○川原直城（中外テクノス）、吉田憲生（同）、山口重徳（エコサイクル）、村主周治（中外テクノス）
- S2-27 ダイレクトプッシュFFD計測技術を用いた油汚染土壌調査
○佐藤秀之（ランドコンシェルジュ）、田中正利、光畑裕司（産業技術総合研究所）、中島善人（同）
神宮司元治（同）、西脇淳子（同）

セッション3

口頭発表（15：00～16：21）

ポスター発表（16：30～17：30）

- S3-1 サンプルング機器の違いによる土壌試料の性状について
○堀田朝丈（日本地下水開発）、草場周作（アイ・エス・ソリューション） 佐藤秀之（ランドコンシェルジュ）
- S3-2 土壌汚染対策におけるリスク評価の適用性の検討（その6）
―わが国の土壌汚染対策におけるリスク評価の活用に向けて―
○中島 誠（土壌環境センター）、奥田信康（同）、リスク評価適用性検討部会（同）
リスク評価活用方法検討部会（同）
- S3-3 ブラウン管テレビの鉛ガラスの溶出試験方法に関する予備的検討
○杉田 創（産業技術総合研究所）、井本由香利（同）、山下 勝（同）、肴倉宏史（国立環境研究所）
赤井智子（産業技術総合研究所）、駒井武（同）

- S3-4 各地の土壌における金属類の吸着保持量とその共存物影響
○大橋優子（応用地質）、亀屋隆志（横浜国立大学）、小林 剛（同）、沼野浩祐（応用地質）、青山正信（同）
- S3-5 フェーズ I サイトアセスメントにおける情報の重要性
○広瀬彰一（イー・アール・エス）、石井 亮（同）
- S3-6 カドミウムとセレンの複合汚染土の不溶化事例
○三浦俊彦（大林組）、安田敏夫（同）、日笠山徹巳（同）、黒木泰貴（同）、久保 博（同）
- S3-7 石油汚染土壌のリスク評価に用いるTPH定量法の検討
○丸山智代（エス・ブイ・シー東京）、田中美記子（同）、北川 聡（同）、久保田雅美（同）
- S3-8 原位置酸化分解における過硫酸塩の特性に関する考察
○瀬野光太（国際環境ソリューションズ）、鈴木誠治（同）、佐藤徹朗（同）
- S3-9 土壌汚染調査におけるオンサイト分析技術開発（3） ～土壌中のカドミウム、鉛における迅速法の検討～
○三村高志（日立協和エンジニアリング）、高橋政行（同）、青砥克士（同）、大高 学（同）
保坂重紀子（同）、本田久夫（同）
- S3-10 六価クロム溶出量の簡易試験方法の開発
○十朱偉清（NIPPOコーポレーション）、佐々木由勝（同）、伊藤紀与人（同）、片岡昌裕（同）
- S3-11 遠心模型実験による連続地中遮水壁の地震時挙動と信頼性の評価
○栗原太志（京都大学）、羽田野隆之（同）、乾 徹（同）、勝見 武（同）
嘉門雅史（高松工業高等専門学校）
- S3-12 種々の有機酸と鉄イオンを用いたVOCsの光分解法の開発 ―太陽光と有機酸廃液の有効利用を目指して―
○晴山 渉（岩手大学）、ラビヤ ママツト（同）、中澤 廣（同）
- S3-13 油含有土壌の原位置洗浄に関する研究
○大村啓介（竹中土木）、古川靖英（竹中工務店）、奥田信康（同）、田中良隆（竹中土木）
- S3-14 有機酸を用いた重金属汚染土壌の現位置浄化に関する基礎実験Ⅳ
○兵道英男（九州テクノリサーチ）、伊藤 洋（北九州市立大学）、門上希和夫（同）
大川清和（九州テクノリサーチ）、宮崎照美（日鉄環境エンジニアリング）
- S3-15 甲府盆地周辺河川水の水温経年変化
○尾形正岐（山梨県工業技術センター）、小林 浩（山梨県衛生公害研究所）、興水達司（山梨県環境科学研究所）
- S3-16 活性化した過硫酸塩による原位置酸化分解法
○星野隆行（栗田工業）、上野俊洋（同）、森田暢彦（同）
- S3-17 VOCs汚染地下水の浄化適合性試験と遺伝子診断の関連について
○伊藤雅子（大成建設）、高畑 陽（同）
- S3-18 油汚染された不飽和帯土壌のフェントン反応剤を用いたオンサイト浄化
○長野勝己（アイ・エス・ソリューション）、和知 剛（同）、草場周作（同）
- S3-19 クロロメタン類におけるバイオレメディエーションの適応について
○山口重徳（エコサイクル）、シュリハリ チャンドラガトギ（同）、チナルグリ イミティ（岩手大）
晴山 渉（同）、中澤 廣（同）
- S3-20 微細気泡混合水の原位置浄化への適用性についての考察
○日野成雄（DOWAエコシステム）、吉村雅仁（エコシステム花岡）、高橋宏卓（DOWAエコシステム）、山野賢一（同）
- S3-21 嫌気性資材を用いた脱塩素反応を行うバイオバリアに関する研究
○宮本隆史（名古屋大学）、井上 康（同）、吉田奈央子（同）、片山新太（同）

- S3-22 二次元土槽を用いた石油分解菌による油汚染土分解実験
 ○門倉伸行 (熊谷組)、土路生修三 (同)、佐々木静郎 (同)、村上順也 (同)
 石森洋行 (立命館大学) 久保 幹 (同)
- S3-23 取水井の集水域に対する実験的検討と粒子追跡法による評価
 ○高尾幸宏 (神戸大学)、井上一哉 (同)、田畑見紗 (同)、田中 勉 (同)
- S3-24 バイオレメディエーション不適サイトにおけるVOC汚染浄化事例
 ○水野洋輔 (中外テクノス)、村主周治 (同)、シュリハリ チャンドラガトキ (エコサイクル)、前田信吾 (同)
- S3-25 水蒸気分解法の大型設備によるPCB汚染土壌の浄化
 ○中島卓夫 (鴻池組)、野口喜美夫 (ジオスチーム)、平賀夕佳 (東芝)、内山 孝 (テルム)
- S3-26 土壌汚染調査・対策におけるCO₂排出量の把握
 ○亀谷美智康 (土壌環境センター)、佐藤秀之 (同)、大村啓介 (同)、小関喜憲 (同)
 崎原 盛 (同)、CO₂排出量検討部会 (同)
- S3-27 ブラウン管鉛ガラス微粒子による環境汚染に関する考察 ―含有金属元素と分散性―
 ○井本由香利 (産業技術総合研究所)、杉田 創 (同)、山下 勝 (同)、肴倉宏史 (国立環境研究所)
 赤井智子 (産業技術総合研究所)、駒井 武 (同)

6月19日 (金)

8:50 開場・受付開始

9:06~17:25 研究発表 (ハイブリッド方式)

セッション4

口頭発表 (9:06~10:33)

ポスター発表 (10:40~11:40)

- S4-1 遺跡発掘現場における土壌中の重金属の濃度とその由来の推定
 ○加田平賢史 (大阪市立環境科学研究所)、森脇 洋 (信州大学)、三田村宗樹 (大阪市立大学)
 松本啓子 (大阪市文化財協会)、趙 哲済 (同)
- S4-2 Removal of Aqueous Fluorides by a Water Treatment Sludge
 ○呉 宅根 (九州大学)、佐伯和利 (同)
- S4-3 岐阜市におけるテトラクロロエチレンによる地下水汚染対策について
 ○平井一郎 (岐阜市)、杉原祐志 (同)、篠田 健 (同)、寺尾 宏 (岐阜県環境管理技術センター)
- S4-4 ファイトレメディエーションによる油分汚染土壌の浄化実証試験
 ○田崎雅晴 (清水建設)、浅田素之 (同)、米村惣太郎 (同)、黒岩洋一 (同)
- S4-5 国内土壌の透気係数測定と予測式の提案
 ○杉本雄一 (埼玉大学)、濱本昌一郎 (同)、飯塚健仁 (同)、川本 健 (同)、小松登志子 (同)
- S4-6 不法投棄の環境再生の日米比較
 ○福士 明 (北海学園大学)、古市 徹 (北海道大学)
- S4-7 重金属類汚染土壌の不溶化処理工事における品質管理
 ○菱川絢子 (竹中土木)、古川靖英 (竹中工務店)、菅沼優巳 (竹中土木)、藤田豊彦 (同)
 白井克巳 (竹中工務店)

- S4-8 土壤汚染状況調査における調査地点設定に係る測定の省力化（第4報） —ロバスト性の改善—
○三浦光通（環境研究センター）、岡本 修（茨城工業高等専門学校）、高橋 徹（環境研究センター）
広瀬 篤（デジメイト）
- S4-9 過酸化水素水による微生物浄化技術の適用方法
○大西健司（大林組）、大島義徳（同）、石川洋二（同）、桐山 久（東邦ガス）、岡嶋正志（同）
- S4-10 水平井戸管を用いた原位置バイオレメディエーションの模擬実証実験
○村上順也（熊谷組）、渡辺則雄（同）、門倉伸行（同）、佐々木静郎（同）、土路生修三（同）
久保 幹（立命館大学）
- S4-11 河川底質物中の重金属含有量に対する人為的影響の新しい評価法
○渡部久美子（ジオテクノス）、松本一郎（島根大学）
- S4-12 産業廃棄物不法投棄現場周辺における環境水中の重金属濃度
○颯田尚哉（岩手大学）、中村謙吾（京都大学）、福谷 哲（同）、立石貴浩（岩手大学）
- S4-13 重金属を含む酸性水対策へのベントナイト系遮水材の適用
○最上裕生（京都大学）、勝見 武（同）、乾 徹（同）、嘉門雅史（高松工業高等専門学校）
- S4-14 化学的酸化工法による地下水ベンゼンの浄化
○井山 浩（NIPPOコーポレーション）、小山正人（同）、古川康弘（同）、大橋貴志（同）
- S4-15 環境リスク評価のための汚染物質濃度入力値に関する基礎的検討
○立野久美（国際環境ソリューションズ）、中島 誠（同）
- S4-16 砒素を含有するトンネル掘削発生土処理のための吸着材の評価試験
○黄 岷（岐阜県環境管理技術センター）、藤埴英男（同）、安福克人（同）、堀尾明宏（同）
高木庸光（岐阜県岐阜土木事務所）、若原雄一朗（大日コンサルタント）
- S4-17 PAHs汚染土壌のDNAコンポーネントによるファイトレメディエーション促進
○Ronald R. Navarro（産業技術総合研究所）、市川廣保（同）、森本研吾（同）、辰巳憲司（同）
- S4-18 地中挿入型浄化装置によるVOC汚染の原位置分解
○石井六夢（JFEミネラル）、坂井敬一（同）、渡辺哲哉（同）、金子諒子（同）
- S4-19 土地利用を考慮した自然由来のヒ素についての健康リスク評価の検討
○田中宏幸（鴻池組）、笹本 讓（東京カンテイ）、勝見 武（京都大学）
- S4-20 原位置化学的酸化分解法の現地試験に関する一考察
○伊藤 豊（大成建設）、大石雅也（同）、根岸昌範（同）、樋口雄一（同）、小松 寛（同）
- S4-21 蛍光X線透視分析装置による土壤汚染物質の解明
○丸茂克美（産業技術総合研究所）、細川好則（エックスレイプレジジョン）、小野雅弘（住鋳コンサルタント）
氏家 亨（国土防災技術）、熱田真一（大成基礎設計）
- S4-22 電気修復法による土壤汚染対策
○大田昌昭（島津製作所）、秋田 憲（同）、浦谷孝信（同）、寺尾穰二（同）
- S4-23 嫌気性微生物活性化薬剤によるVOC分解の検討
○飯塚麻美子（DOWエコシステム）、松浦健一（同）、横山圭一（同）
- S4-24 原位置におけるバイオレメディエーションによる六価クロムの浄化について
○山口重徳（エコサイクル）、シュリハリ チャンドラガトギ（同）、松田芳隆（三井住友建設）
- S4-25 栄養塩浸透域制御による油汚染土壌の微生物活性の最大化
○森也寸志（島根大学）、藤原篤志（同）、松本祐子（同）
- S4-26 地下水表面近傍におけるVOCガスの挙動に関する研究
○下和田嘉己（東京大学）、西村 拓（同）、井本博美（同）、宮崎 毅（同）

S4-27 揚水ばっ気対策に伴う鉄の影響とその除去について（その2）

○中村正和（日さく）、荒井 正（同）、関川祐市（同）、青柳伸明（同）、渡辺 寛（同）

S4-28 間接熱脱着における土壌中有機フッ素化合物の分解挙動について

○南 淳志（大阪産業大学）、谷口省吾（同）、西 和也（同、現・竹中土木）、尾崎博明（大阪産業大学）

S4-29 嫌気性バイオレメディエーションによる塩素化エチレン類および1,2-ジクロロエタン複合汚染サイトの浄化事例

○上野俊洋（栗田工業）、大口誠賜（同）、石田浩昭（同）

セッション5

口頭発表（12：30～13：57）

ポスター発表（14：05～15：05）

S5-1 重金属汚染された水・堆積物におけるマツパイによるファイトレメディエーションおよびファイトマイニング

○榊原正幸（愛媛大学）、大森優子（大成基礎設計）、佐野 栄（愛媛大学）

世良耕一郎（岩手医科大学サイクロトンセンター）、堀 利栄（愛媛大学）

S5-2 土壌マイクロゾム試験を用いた薬剤影響評価

○谷地俊二（横浜国立大学）、金子信博（同）、大塚知泰（神奈川県環境科学センター）、三島聡子（同）

S5-3 植物への吸収促進に関する堆肥の可能性について

○柳沢 隆（東急建設）、福田 敦（同）、柴野一則（同）、石川祐一（秋田県立大学）、日高 伸（同）

S5-4 廃棄物不法投棄岩手県側サイトにおけるVOC複合汚染土壌の生石灰混合による浄化事例

川本克也（国立環境研究所）、○伊藤正博（ライト工業・東興建設特定共同企業体）

桜井國幸（応用地質）、加藤陽一（岩手県）

S5-5 地質に存在する重金属の分布特性

○嶋 将志（エイトコンサルタント）、今田真治（同）、木村隆行（同）、磯野陽子（同）

居川信之（日本技術開発）、山本裕雄（同）

S5-6 鉛含有汚泥の固化・不溶化処理技術

○竹崎 聡（大林組）、三浦俊彦（同）、久保 博（同）、西田憲司（同）、峠 和男（同）

S5-7 自然的原因で重金属等を溶出する土砂に対する酸化マグネシウム系材料を用いた

固化・不溶化処理の適用に関する検討

○大山 将（鴻池組）、保賀康史（同）

S5-8 有機酸を用いた重金属汚染土壌の現位置浄化に関する基礎実験Ⅲ

○宮崎照美（日鉄環境エンジニアリング）、伊藤 洋（北九州市立大学）、門上希和夫（同）

兵道英男（九州テクノリサーチ）、大川清和（同）

S5-9 温水加熱を用いた土壌油分量の簡易測定法

○丹下俊之（環境科学研究所）、林 昌史（同）、宋 徳君（基礎地盤コンサルタンツ）

S5-10 蛍光X線分析装置による土壌溶出量・含有量の迅速分析

○糸永眞吾（大成基礎設計）、稲垣静枝（同）、熱田真一（同）、山田理映子（アイデムエールスタッフ）

S5-11 Vapor Intrusion(VI)～ある曝露経路の変遷と現状～

○村上淑子（イー・アール・エス）、中村直器（同）

S5-12 VOC汚染サイトにおける微生物分解から見た栄養剤選定の必要性

○佐藤徹朗（国際環境ソリューションズ）、鈴木誠治（同）、荒川貴之（同）

- S5-13 DNAPLトリクロロエチレン (TCE)の汚染サイトにおける乳化大豆油基質 (SRS) を用いた
原位置バイオリメディエーションの現場試験結果紹介 (英国現場SABREプロジェクト)
○Dick Raymond (Terra Systems, Inc., USA,), Mike Lee(Terra Systems, Inc., USA,)
Peter Zeeb (Geosyntec Consultants, USA,), Gary Wealthall (British Geological Survey,)
Sandra Dwortzek (SiREM, Canada, USA,), Dave Ellis (DuPont, USA)
- S5-14 過酸化水素水による微生物分解の活性化の確認
○大島義徳 (大林組)、大西健司 (同)、石川洋二 (同)、桐山 久 (東邦ガス)、岡嶋正志 (同)
- S5-15 風化を受けた堆積岩中の重金属類存在形態と溶出特性
○田本修一 (土木研究所寒地土木研究所)、伊東佳彦 (同)、阿南修司 (同)、岡崎健治 (同)
- S5-16 透水試験を応用したベンゼン汚染土壌のリスク管理手法の検討
○藤長愛一郎 (大阪府立工業高等専門学校)
- S5-17 仙台市長町地区における自然堆積地層の砒素に関する考察
○青木鉦二 (環境管理センター)、丸茂克美 (産業総合研究所)
- S5-18 重金属不溶化処理土壌の安定性試験結果
○鈴木義彦 (栗田工業)、橋本正憲 (同)
- S5-19 高アルカリ性土壌下での改良型フェントン法による原位置浄化事例
○新田卓也 (日本シーガテック)、俵 一生 (同)、ブラーツ初枝 (同)
今井亮介 (奥村組)、小西正郎 (同)
- S5-20 土壌汚染対策によるリスク低減効果の評価手法の検討
○奥田信康 (竹中工務店)
- S5-21 原位置化学酸化法における適切な薬剤量の設計と施工
○小林裕一 (アイ・エス・ソリューション)、中間哲志 (同)、長野勝己 (同)、大澤武彦 (同)
- S5-22 嫌気性微生物処理法の適用事例 (その2)
○稲田ゆかり (清水建設)、藤城春雄 (同)、青木陽士 (同)、田澤龍三 (同)
- S5-23 バイオオグメンテーションによる油汚染土壌浄化工法の確立
○宮北憲治 (奥村組)、小西正郎 (同)、今井亮介 (同)、山津敦史 (アイアイビー)、今中忠行 (立命館大学)
- S5-24 オゾン酸化法の現地への適用性について
○日野成雄 (DOWAエコシステム)、吉村雅仁 (エコシステム花岡)、桐山 久 (東邦ガス)、長谷川秀文 (同)
- S5-25 有害物質使用履歴のない区画の土壌汚染リスクについて ~閉鎖工場サイトにおける事例~
○田熊康秀 (環境テクノ)、山口和久 (同)、辻 哲廣 (同)
- S5-26 電磁マッピング物理探査技術の油汚染土壌調査への適用研究
○光畑裕司 (産業技術総合研究所)、安藤 大 (日本地下探査)、上田 匠 (産業技術総合研究所)
今里武彦 (日本地下探査)、高木一成 (地盤環境エンジニアリング)、佐藤秀之 (ランドコンシエルジュ)
- S5-27 「埋め戻し土壌の品質管理指針」普及状況について
○有山元茂 (土壌環境センター 技術標準検討部会)、田澤龍三 (同)、日笠山徹巳 (同)
青木鉦二 (同) 相澤 晃 (同)、佐伯 悌 (同)
- S5-28 複合微生物群を用いたトリクロロフェノールの嫌氣的脱塩素化カラムの活性と透水性
○原 茂樹 (名古屋大学)、清水洋平 (同)、溝口卓弥 (同)、井上 康 (同)、吉田奈央子 (同)、片山新太 (同)
- S5-29 界面活性剤を用いた石油汚染地盤の原位置洗浄技術に関する検討 -潤滑油に対する浄化性能評価-
○岡田正明 (フジタ)、仲沢武志 (同)、塩尻大輔 (同)、飯野浩成 (同) 野口俊太郎 (同)、近藤敏仁 (同)

セッション6

口頭発表（15：05～16：17）

ポスター発表（16：25～17：25）

- S6-1 VOCs汚染地盤の原位置嫌気バイオ浄化用栄養材の移動性向上のための検討
○緒方浩基（大林組）、四本瑞世（同）、佐藤祐司（同）、宮崎隆洋（同）
- S6-2 赤黄色土充填カラムからの土壌コロイド流出挙動
○平田大貴（埼玉大学）、川本 健（同）、D. T. K. K. Chamindu (Aalborg University, Denmark)
福地翔平（埼玉大学）、小松登志子（同）
- S6-3 ボルタンメトリ法によるオンサイト分析技術を活用した地下水中砒素等の調査
○藤川陽子（京都大学）、濱崎竜英（大阪産業大学）、菅原正孝（同）、杉本裕亮（同）、南淳志（同）
ポール ルータス（Cogent Environmental、Edith Cowan University）
- S6-4 減圧還元加熱法によるPCB汚染土壌の浄化実証実験
○長澤太郎（竹中土木）、奥田信康（竹中工務店）、木村 玄（同）、麻生修平（竹中土木）、岡野裕司（同）
- S6-5 ファイトレメディエーションによる工場跡地油汚染土壌の浄化
○海見悦子（中外テクノス）、鎌田茂樹（同）、玉置雅彦（明治大学）、岸 正博（AGCエンジニアリング）
小野間満（同）、山崎直人（同）
- S6-6 地下鉄建設工事における重金属を含む海成泥岩の調査・対策事例
○門間聖子（応用地質）、森研一郎（仙台市交通局）、佐々木正春（同）、堀 修（応用地質）
- S6-7 油分解微生物に関する研究報告
○張 恩実（国際環境ソリューションズ）、鈴木誠治（同）、佐藤徹朗（同）
今田千秋（東京海洋大学）、小林武志（同）、濱田（佐藤） 奈保子（同）
- S6-8 土壌汚染調査におけるオンサイト分析技術開発（4） ～土壌中のシアンにおける迅速法の検討～
○保坂亜紀子（日立協和エンジニアリング）、高橋政行（同）、青砥克士（同）、三村高志（同）
大高 学（同）、本田久夫（同）
- S6-9 油汚染対策時におけるポータブル型ニオイセンサによる油臭の管理
○高岸 健（竹中工務店）、奥田清明（同）、菅沼優巳（竹中土木）、鶴岡逸郎（同）
近藤嘉宏（環境計測サービス）
- S6-10 鉄粉固定化法によるシアン含有地下水の浄化工法について
○永瀬弘喜（DOWAエコシステム）、日野成雄（同）
- S6-11 農薬（HCH）汚染土壌の分解処理について
○上原大志（DOWAエコシステム）、菊地達也（同）、川上 智（同）
- S6-12 界面活性剤を用いた油汚染土壌浄化に関する基礎的検討
○佐々木静郎（熊谷組）、門倉伸行（同）、土路生修三（同）、村上順也（同）、渡辺則夫（同）
久保 幹（立命館大学）
- S6-13 長期間地中に封じ込められた建設残土中の重金属類の化学形態と溶出挙動
○井上千弘（東北大学）、文屋ゆかり（同）、須藤孝一（同）、土屋範芳（同）
- S6-14 大規模バイオ法実施事例及びエネルギー消費量の試算
○鈴木圭一（パナソニック環境エンジニアリング）、安藤卓也（同）、伊藤善孝（同）
- S6-15 地下水汚染発生リスク評価を用いた地域毎の土壌汚染管理の検討
○保高徹生（国際環境ソリューションズ）、中村公人（京都大学）

- S6-16 シアンとベンゼンの複合汚染を対象とした生物分解特性の基礎的検討
○河合達司（鹿島建設）、川端淳一（同）、仲山賢治（同）
- S6-17 エアレーションによる底質浄化と生体評価
○隅倉光博（清水建設）、児島敏一（同）、岡村和夫（同）、堀内澄夫（同）、鎌迫典久（国立環境研究所）
- S6-18 酸洗浄と電析による鉛汚染土の浄化
○和田信一郎（九州大学）、有富礼子（同、現 パナソニック環境エンジニアリング）
- S6-19 河川底質中に生息する嫌気性微生物の脱塩素機能
○鈴木武吉（名古屋大学）、杉浦隆明（同）、劉 豊茂（同）、土居良一（同）
朝日教智（名古屋市環境科学研究所）、片山新太（名古屋大学）
- S6-20 フェントン原位置浄化後の地下水モニタリング期間の評価
○山内 仁（アイ・エス・ソリューション）、中間哲志（同）、西村 実（同）、草場周作（同）、和知 剛（同）
長野勝己（同）
- S6-21 注水バイオスパーキングを用いたベンゼン汚染帯水層の浄化事例
○大石雅也（大成建設）、桐山 久（東邦ガス）、藤森誠司（同）、有山元茂（大成建設）、高畑 陽（同）
池上和広（同）
- S6-22 好気性微生物における石油系炭化水素化合物のバイオレメディエーションについて
○山口重徳（エコサイクル）、シュリハリ チャンドラガトギ（同）
新井洋平（日立プラント建設サービス）、高山清見（同）
- S6-23 帯水層中への空気注入による地下水水質への影響
○塩谷 剛（栗田工業）、篠原隆明（同）、橋本正憲（同）
- S6-24 重金属類移動挙動に及ぼす共存イオン種、鉱物種の影響
○原 淳子（産業技術総合研究所）、垣原康之（北海道道立地質研究所）
川辺能成（産業技術総合研究所）、駒井 武（同）